

# 中村信彦市議会レポート

## 第67号

今年9月、茨木市は大分県竹田市と文化交流パートナーシップ宣言を取り交わしました。両市間で中川清秀公や隠れキリシタン、川端康成先生などで非常に大きな絆があります。竹田市の岡城跡は滝廉太郎の「荒城の月」のモデルになった事で有名です。



茨木市議会議長 中村信彦

秋も深まり、北摂の山々も美しい紅葉の季節となりました。皆様方には、お元気でお過ごしでしょうか。私は今年の二月臨時会で市議会議長に就任して以来、三月、六月、九月と各市議会定例会で上程された予算や条例などの議案について、市民の代弁者である議員が活発に市政に対して質疑が行われるよう民主的で公平な議会運営に努めてまいりました。お陰様で大過なく着実にその職責を果せてきたものと考えております。とりわけ議員定数の削減、議員報酬の削減については六月市議会で、市民により開かれた市議会にするための議会基本条例を九月市議会でそれぞれ議員提案として可決することができました。これからは市議会のインターネット中継や聴いおられる市民の方に分かりやすい質疑になるよう本会議での一問一答方式の導入、議会報告会の開催などについて引き続き検討を進めてまいります。いよいよ市議会議員の任期も残すところわずかとなってまいりました。今後とも皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 9月市議会報告

九月定例市議会が九月六日から二六日まで開かれまして。市長から提案された平成二三年度一般会計、書く特別会計などの決算をはじめ、一般会計補正予算など三六件の議案を審議しました。

また、議員から提出した「茨木市議会基本条例の制定について」など三件の議案を審議しました。

市議会基本条例は、二年前に議会活性化検討委員会を設置し、ワークショップや、市民説明会などを積み重ねて制定されました。この条例を踏まえて、より市民に分かりやすく、身近で親しみもてる市議会を目指して、インターネット中継や質問の一问一答制導入などの改革に取り組みます。

## 各地区で敬老会



九月十月と市内各小学校区で地区社会福祉委員会が中心となって敬老会が開催されました。本市では六十五歳以上の方が五万五千人おられ市民全体の約五人に一人が六十五歳以上ということになります。今後ますますにご高齢の市民が増えてゆきます。市としてもハードソフト両面でご高齢の方にも障害のある方にも優しい街づくりが求められています。

## 茨木市地域コミュニティ基本指針を公表

### 地域自治組織（地域協議会）づくり

この十月に茨木市地域コミュニティ基本指針が公表されました。この指針は、将来の地域のあるべき姿を明らかにし、市民、事業所、NPO、行政などが共通の目標に向かって一体となって進める地域づくりの基本的な考え方をまとめたものです。人々の意識の変化や生活様式の多様化が進み、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。本市でも、世帯構成の変化や自治会加入率の減少などに伴い、地域における連帯感が希薄化している傾向にある中、地域では福祉、環境、防災など様々な場面で課題が生まれています。また、人々の暮らしにおける分野での問題は複雑化、多様化しており、行政サービスや施策のみでこれら地域の課題すべてに対応することは困難です。真に豊かで持続可能な地域社会を目指すためには、地域住民が一体となり、自らの協議や行動を活かし、行政とともに地域の課題解決に取り組むことが必要になってきます。

2012年 11月 10日

各 位

茨木市議会議員中村信彦後援会  
会 長 井 上 博 昭

# 中村信彦励ます集いのご案内

晩秋の候 皆様方にはお元気でお過ごしのことと存じます。また、日頃は中村信彦議員の活動にそれぞれのお立場から温かい御支援を頂きまして誠にありがとうございます。さて茨木市議会議員中村信彦も今年2月に議長の重責を担う事となり、この一年、議長としての公務に日々慌ただしく取り組んでおります。御蔭さまで中村信彦議員の6期目の任期も残すところあと少しとなってまいりました。中村信彦後援会といたしましても、新年総会や旅行会など中村信彦議員を囲んで親睦を深めながら市民の声が少しでも多く市政に反映できますよう様々な活動を続けてまいりました。

つきましては、今後とも中村信彦議員の政治活動を支援する輪を広げていくために、下記の通り「中村信彦励ます集い」を開催することといたしました。

皆様方には何かとご多忙中の事とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

■日 時 **12月10日(月)**

**午後6時30分から**

■場 所 **茨木市福祉文化会館 5階 文化ホール**